

守りたいのは命、残したいのはきれいな水と空気

瀬戸川昔話7 「きつねのこうやく」 再話・絵：山田辰美
(その2)

「よっころしよい。」
リキは娘を軽々と背負って、川を渡り始めた。
桜のつぼみがほころび始めたとはいえ、夜の水はまだまだ冷たい。
「う、つめて。おっかさんはそんなに悪いのかい。」
「長患いの母を残して嫁いだのですが、虫が知らせて。気がかりで気がかりで。」
そんなやり取りをしているうちに、川を渡りきった。
「久しく雨がなかったの、今日はひざ下だったから、五文おくれ。」
「そうゆう訳にいけません。お陰で母の看病ができます。どうぞ十文取って下さい。」



「いいんだよ。孝行なあんたから余分な駄賃は取れねえよ」
そんな押し問答をしながら、五文銭がリキの掌から落ちた。
瀬戸川の石ころの川原にチャリンと音がするはずだが、はらりと
静かに落ちた。
川原に落ちた五文銭は土手に生えているエノキの葉っぱに変わった。
「てめー、」リキの表情が変わった。



つづく

協賛各社

黒川医院		菅ヶ谷内科医院		
青島歯科医院	(株)エクノスワタナベ	岡崎科医院	小柳津久男事務所	(有)桑原モータース
佐野設計工房 一級建築事務所	服部歯科医院 音羽町診療所	(株)松浦不動産	(株)山田組	

瀬戸川フォーラム 参加団体

しずおか流域ネットワーク/志太自然ネットワーク
(社)藤枝青年会議所/(社)焼津青年会議所/森林組合おおいがわ
瀬戸川 朝比奈川非出資漁業協同組合/静岡県島田土木事務所
(社)島田建設業協会青年部/大井川流域ネットワーク

瀬戸川フォーラムのHPもご覧ください。http://www.ryuikinet.gr.jp/setogawa/

瀬戸川通信 編集責任者 大井川流域ネットワーク 小田 稔彦
島田市中央町31-10 TEL 0547-36-0706

川のみらい・地域のみらいについて考える情報紙

瀬戸川通信 第8号

発行 瀬戸川フォーラム 平成14年 8月14日



瀬戸川なるほど講座 第1、2回 開催

瀬戸川フォーラムは流域の自然の保全と文化の振興を図り、流域を中心に活動する市民の交流をすすめ、流域の望ましい姿を考え、子供たちの健全な成長にとって重要なふるさとの自然や文化に触れる環境や機会を設けるため「瀬戸川なるほど講座」を開催しています。

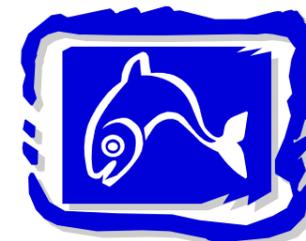
第1回 講演 『いにしへの瀬戸川』 講師 磯部武男氏
(藤枝市郷土博物館)

平成14年5月31日(金)午後7時~8時半:藤枝市役所 西館5階会議室で行いました。

清流 瀬戸川の名前の由来や近世以前に川がどのように利用されたかについて考証しました。さらに、流域に鎮座する水神に対する信仰に触れ、流域の人々の川に対する想い(感謝と畏れ)を辿ってみよう。

【講演内容】

1. 「せと」の意味 狭窄部、土器
2. 古代の川漁 縄文時代の遺跡
あゆ うなぎ漁
3. 川を使った運搬 埋もれた弥生時代の集落跡、筏による木材の運搬
4. 古代寺院と荘園 清水寺、安楽寺ほか
5. 女神と観音信仰 高根白山神社、清水寺、智満寺ほか
6. 伏流水と湧水 藤枝川 青池ほか
7. 瀬戸川と藤枝宿 陸路と交わる場所に発達(岡部宿、藤枝宿、島田宿ほか)
8. 災害と堤 藤枝堤、明治43年水害



ふるさと体験学習 水上の里・田んぼビオトープ

第2回 演題 『こどもにも分かる川の生き物のおもしろい生態』
富士常葉大学助教授 山田辰美 (瀬戸川フォーラム 代表)

平成14年7月19日(金)午後7時～8時半:藤枝市文化センター 第1会議室
で行われました。

瀬戸川の生き物たちの暮らしぶりについてスライドやカメラ、ヘビなどの生き物たちとともに分かりやすく解説されました。会場は子供たちで満員状態でした。

【講演内容】

- 1、せと川には何種類の魚が暮らしているのかな？ 2、夏に多く見られるカエルは秋はどこにいるのかな？ 3、カメが減ってしまったのはどうして？ 4、川魚の王「アユ」にけんかをうる魚は？ 5、ズガニはどこで子を育てるのか？ 6、人を刺す毒を持つ魚とは？



市民団体 志太エコクリエイト 代表 新出幸雄 (瀬戸川フォーラム会員)
休耕田の活用と自然体験学習の場づくり(藤枝市水上 通称への字山下の田んぼ)

農家地主さんのご好意により、2反歩余りの田んぼを貸していただきました。そこで、田んぼの学校と多様な生物の集まるビオトープづくり、だれでも楽しめる体験学習ゾーンと活用したいと考えております。みなさん一緒に汗を流しませんか。

志太メダカをシンボルキャラクターとして、繁殖させ元々生息しているカワニナを生かした、ホタルの飛び交う「ふるさと体験学習 田んぼの学校」を目指したい。

●田植え

6月9日に行われた水上の子供たちと市内のボーイスカウトの子供たち参加の田植えが地元のおじさんたちの指導のもとに行われました。子供たちは泥まみれになって大はしゃぎでした。



農家のおじさんに教えてもらって田植えのはじまりです



近くの広場で受付開始



マイクを持つ新出さん



泥まみれになってはしゃぐ子供たち



竹の遊具(はんで?)で遊ぶ子供たち

瀬戸川フォーラムの目的

1. 流域の自然の保全と文化の振興を図る。
2. 流域を中心に活動する市民の交流をすすめ、流域の望ましい姿を考える。
3. 子供たちの健全な成長にとって重要なふるさとの自然や文化に触れる環境や機会を設ける。

藤枝市生活環境課で発行した瀬戸川水系の生き物たちの下敷き



制作 瀬戸川フォーラム 山田辰美
協力 花井孝之 伊藤明彦



発行者 藤枝市